

秋整枝時期

秋整枝は平均気温が18～19℃以下になる頃(10月中旬頃)がよく、早すぎると遅れ芽が発生したり年内に萌芽したりすることがある。萌芽率が20%以上になると、開葉する芽も生じ、翌年の一番茶の収量に影響する。

整枝の程度

深さの目安としては葉層を8cm以上残すようにし、三番茶不摘採園ではやや深く二番茶摘採面より4～5cm程度(三番茶の葉2～3枚残す程度)上で整枝する。

掛川観測システム応用

* 秋整枝を行ってから生育が停止する(11月10日頃)までの積算温度と再萌芽率の関係。
積算温度615.3℃で再萌芽率20%、476.3℃で10%。

秋整枝過去平均目安

過去10年間の平均気温を用い本年のJA掛川市観測定点の整枝時期を予測した。

東山	平成29年10月6日～13日
日坂	平成29年10月5日～12日
東山口	平成29年10月6日～13日
上西郷	平成29年10月6日～13日
和田岡	平成29年10月6日～13日
上内田	平成29年10月6日～13日
※平均	平成29年10月6日～13日

※平均とは上記6ヶ所の平均値を参考に市内の平均的な整枝タイミングを予測した。